

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	すきっぷ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用人数に対する職員の配置数	児童の状態や状況に応じて、個別の対応や集団でのカリキュラムを組むことが出来ている	コミュニケーションを図る中で、要望や意見をくみ取れるような場所と時間を設ける。
2	学校や役場、相談支援事業所との連携	情報提供や、担当者会議の要請に迅速に対応できている	必要な際に事業所主体となつての担当者会議などの開催
3	保護者と、児童の状況や課題を共通理解できている	保護者のお迎え時や、自宅への送迎時に話ができる時間を持つことが出来ている 保護者の希望がある際には迅速に面談や話し合いなど行っている	活動日誌以外にも連絡ノートの活用や、lineやメールを使って状況報告していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童の学年が上がってきて活動スペースが狭く感じる時もある	利用人数の増加や、児童が成長し体格が徐々に大きくなってきたこと	家具の配置換え。物品の片付けや移動を行うなど、活動に応じて変えられるような収納具を利用していく 活動内容や利用人数に応じて、公共施設等の利用を増やしていく
2	スタッフ全員で支援前後の伝達や、打ち合わせが出来ない時もある	非常勤職員の勤務時間や日数にバラつきがある	出勤時間等の調整をしながら時間を確保していく グループチャットなど利用していく
3	学習支援の中で、現在学校で行われているカリキュラム(や問題の解き方等)の教師との共有	お迎え時間に先生と情報共有する時間があまり取れていない	学校の先生と今以上に情報共有を図る 学校との間で学習支援に特化した情報伝達や話し合いの場を持つ